

## 住宅リフォーム 支援事業について



竹井政志議員

◇住宅リフォーム支援事業について  
【質問】新規事業・住宅リフォーム支援事業500万円が計上されているが、この事業の実施概要はどのようなものか、また、このリフォーム支援事業は、全国的にも経済効果は抜群で地域経済の活性化にもつながると評価されているものでもある。応募者が多い場合、補正予算を組むことを考えているか。  
【答弁】市内経済の活性化を図ると共に市民の居住環境の向上を目的にした。補正予算は応募状況をみて判断する。



住宅リフォーム

◇TPP交渉参加問題について  
【質問】多くの自治体で党派を超えて反対などの意見書が、全国1100を超える市町村議会でも可決されている。市民の命と財産を守るという立場から農協、消費者団体などと、どのように連携していくのか。  
【答弁】飯山市は農業を基本としていて。関係する団体、また国へもはっきり反対の立場で発言していく。

◇日常の買い物ができない地域について  
【質問】高齢化が進む中で、過疎化の進んだ山間地のみならず、郊外の団地に住む人たちから「食品、日用品の買い物先まで遠すぎる」という声を聞く。高齢者が買い物するために利用する店舗までの距離、移動手段、買い物環境など調査し行政として民間事業者との連携をどのようにすべきか、研究を要するのではないか。

【答弁】高齢者実態調査でも中心商店街の活性化や菜の花バスの充実などの要望がある。どのような支援があるのか検討していきたい。

## 広域市町村との 連携について



石田克男議員

◇北陸新幹線開業にむけての連携について  
【質問】新幹線があと4年ほどで開業となる。飯山市は近隣市町村とどのように連携をとっていられるのか。

【答弁】これから新幹線開業にむけていきたい。飯山市としては近隣市町村に負けないよう、高橋まゆみ人形館を核とした観光振興に努めてまいります。

◇定住自立圏形成協定について  
【質問】最近、定住自立圏構想の中心市宣言をする市が増えてきた。もし中野市が宣言をした場合、どのように連携をとっていられるのか。

【答弁】定住するエリアの中で中心市を定め、その周りの市町村と連携をとり生活圏域をつくるので、その生活圏域をどこに定めるかによつて変わってくる。飯山市も新幹線が開通すると、北信の玄関口になるので、中野市と複眼中心市になることもできる。



城北中学校の入学式で祝辞をのべる足立市長

◇外国の学校との交流について  
【質問】中学生対象に、中国の深圳外国語学校との交流を行っているが、どのように行っているのか。  
【答弁】中学生全員に希望を取り実施している。今年度、20人募集したが、17人となった。また、英語圏の学校との交流も模索している。

◇平和学習派遣事業について  
【質問】近年、男子生徒の参加が少ないと聞くがどうなのか。  
【答弁】そのとおりである。男子生徒も参加できるようにしたい。

## 「ういやま」を世界へ ネット情報発信の強化を



高山恒夫議員

◇新年度予算編成について  
【質問】当初予算は過疎債活用と市単経済対策も含め新規事業が多く盛り込まれた。執行にあたっての決意は。

【答弁】新幹線関連事業をしっかりと進める積極的予算編成とした。新規事業は地区の切実な要望の中からきめ細かく予算を組んだ。早期着実な執行に努力したい。

◇河川整備について  
【質問】新規に中小河川改修経費が事業化された。巨石の流失や護岸浸食などで人家にも影響の心配される箇所があるが。

【答弁】準用河川、普通河川の劣化を認識している。自然景観を配慮し計画的に整備していきたい。

◇協働のもりづくり事業について  
【質問】新規協働のもりづくり事業と新規有害鳥獣対策事業との連携は。

【答弁】協働のもりづくり事業は里山周辺の荒れ地対策を想定している。鳥獣対策事業とも効果的に柔軟な運用で対応したい。

◇文化財の維持について  
【質問】小菅柱松行事が国重要無形



様々な情報をタイムリーに!!

民俗文化財として指定された。少子高齢集落での伝承文化の継承は並大抵ではない。集落維持が課題。  
【答弁】文化財の価値をもっと全市民的なものに高める努力が必要。集落支援については具体的に地元と相談していきたい。  
◇インターネット情報発信について  
【質問】情報化時代へネット活用にもっと力を入れるべきではないか。  
【答弁】インターネットは迅速性やコスト面でも優れ、全国、世界に発信できる情報機器であり人的配置も含めしっかり対応したい。

## 平成23年度 予算編成について



小林喜美治議員

◇政治姿勢について  
【質問】施政方針でも指摘されているが23年度予算をめぐるその行方が地方への影響があるも、自民党時代の地方分権改革同様、民主党政権が進める地域主権改革、事業仕訳など本来の地方自治体の任務である「住民の福祉と健康を守る」ことを破壊しており、地方の経済も衰退させているのが現状である。現在の政権がどのようになるのか予断を許さないが、国の動向と地方に対する影響、現在の政治の動向についてどのように認識されているのか。

【答弁】事業仕訳を進めてきたが、思ったほどの財源が生まれず多額な赤字国債の発行となったと理解している。23年度の飯山市の予算は26年度新幹線開業に向けての準備の期間であり、まちづくりの基本計画をつくる大事な年度となる。こうした事業を進めつつ、子育て支援、経済対策など、市民生活全般にわたり細かく配慮した予算となっている。

◇新幹線事業の推進による関係住民との関係について  
【質問】まちづくりに対する基本的考え方とまちづくりデザイン会議の位置づけについて、この会議のめざすものは何か。  
【答弁】市街地を中心としたエリアに限定して、外から見ても魅力あるものにする、こういう姿にしようというデザインをつくるもの。具体的な市民参画についてはこれから検討していきたい。市民とともに一緒になってのまちづくりを目指していきたい。



市民の期待にこたえられるのかまちづくりデザイン会議